

経営比較分析表（令和4年度決算）

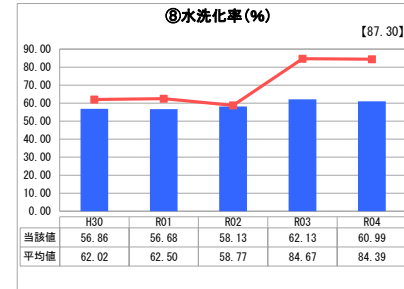
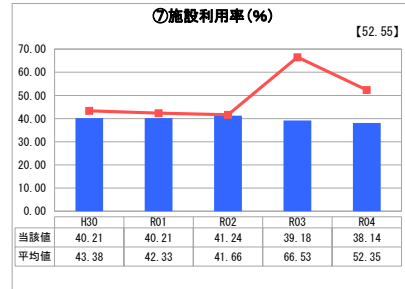
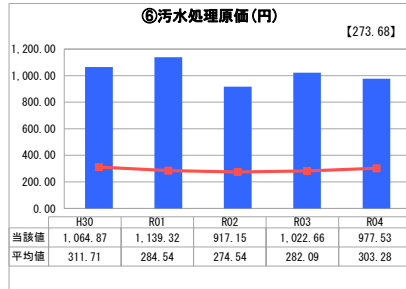
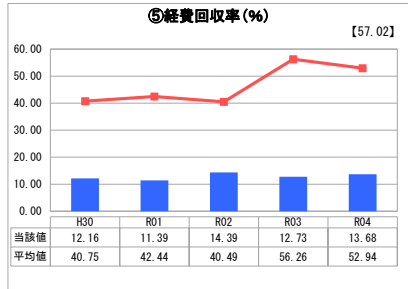
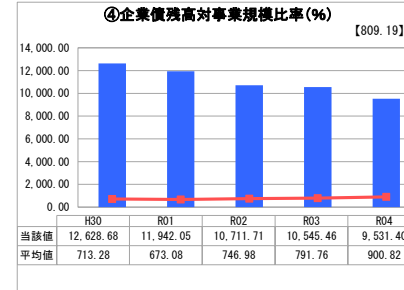
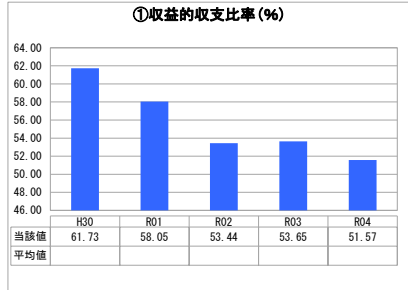
奈良県 平群町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	1.22	100.00	2,640

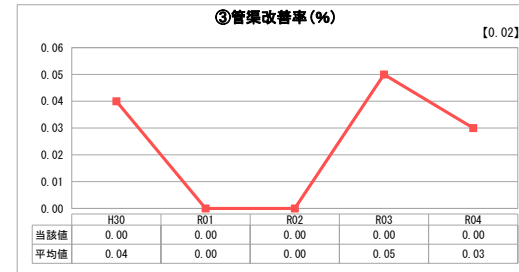
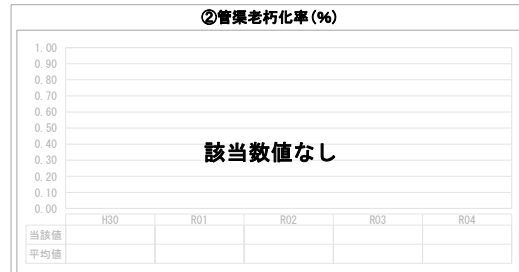
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,434	23.90	771.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
223	0.42	530.95

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水施設は、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持及び農村生活環境の改善を目的に整備を進めたものであり、採算性を取るのが困難な施設である。

当町では平成18年度より供用開始したところであるが、供用開始前に借り入れた企業債の償還が本格に始まっている。

①収益的収支比率では、経費節減に努めたが前年度より比率が低下している。

④企業債残高対事業規模比率では、企業債の償還が進み、事業規模に対する企業債の比率が下がってきているが、依然経営を圧迫している。

また⑧水洗化率が低く処理区域内人口が少ないため、類似団体と比較すると⑤経費回収率が低く、一般会計からの繰入に頼っている⑥汚水処理原価が高くなっている。

2. 老朽化の状況について

平成9年度に事業着手、平成18年度の供用開始から16年を経過し、徐々に修繕・改修箇所が発生している状況である。

全体総括

水洗化率の低さを改善するため、地域住民への啓発活動を行う。

また、平成18年度の供用開始から16年が経ち、今後、修繕・改修箇所が発生が予想されることから、施設の維持管理を適切に行うことにより、費用負担の軽減を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。